

ばら調査方法

1 試験区ならびに調査対象株数

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積) ⁽¹⁾
試験区(1区当り)		14株(6株)	2.8m ² (1.2m ²)
調査対象 (1区当り)	生育調査等	10株(6株)	2.0m ² (1.2m ²)
	収量調査等	10株(6株)	2.0m ² (1.2m ²)

(1) 栽植密度をベッド幅90cm、通路幅70cm、株間25cm、条間45cm、2条植え、a当り500株としたときの面積

2 耕種概要

項目		単位	備考
栽植密度	株数	(株/a)	
	条間	(cm)	
	株間	(cm)	
1区面積		(m ²)	
反復数		(反復)	
定植期		(月 日)	
前作物			
堆肥施用		(t/a、月 日)	
基肥量	N	(kg/a)	
	P ₂ O ₅	(kg/a)	
	K ₂ O	(kg/a)	
追肥	時期	(月 日)	
追肥量	N	(kg/a)	
	P ₂ O ₅	(kg/a)	
	K ₂ O	(kg/a)	
病虫害防除		(薬剤名、月 日)	
使用資材		(資材名、月 日～月 日)	

3 生育調査

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
定植期	定植をした日	A	観察	年月日	1
苗の接ぎ木法	切り接ぎ、芽接ぎ	A	観察		
最終摘心時期	採花枝仕立てに向けた一斉摘心時期	B	観察	月日	1
仕立て方法	切り上げ、ハイラック、アーチングなど	A	観察		
到花日数	母枝ごとに一番花採花後二番花採花までの日数、以降二番花から三番花、……	A	算出	日	1
加温開始日	(半)休眠から加温温度を上げた日	A	観察	月日	1
採花打切日		A	観察	日	1
(半)休眠移行時期	(半)休眠に向けて加温温度を下げた日	A	観察	月日	1
花序のタイプ	単生、散房花序、円錐花序、その他	A	観察		
樹形	ほふく性、つる性、半つる性、横張性、半直立性、直立性、その他	B	観察		
樹高	採花打ち切り時の採花枝の最樹高長(切り上げの場合)	A	測定	cm	1
	採花母枝数	A	測定	本	1

株当たり	ペーサルシュート数	採花打ち切り時まで、接ぎ木部から10cm以内に発生したシュートの本数	A	測定	本	1
	同化専用枝数	ロックウール耕において、採花始期までと採花終までに確保した株あたり同化専用枝数	A	測定	本	1
障害の発生程度		病虫害、生理障害等の発生 (主要なものについては障害名を記載) 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚	A	観察	指数	1

4 採花・収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
a当たり	採花数	スタンダード:40cm以上および未満の本数 スプレー:30cm以上および未満の本数	A	算出	百本	1
	規格別採花数	北海道切り花統一出荷規格による	B	算出	百本	1
	階級別採花数	切り花長で、 スタンダード: <40、≥40、≥50cm、 スプレー: <30、≥30、≥40cmに分級	B	算出	百本	1
	旬別採花数		B	算出	百本	1
株当たり採花数			A	算出	本	1

* 採花時期(切り前):ガクが花卉から離れ反転し、外弁1~2枚開き始め

* 採花位置:切り上げ方式では5枚葉2枚残し、アーチング方式、ハイラック方式ではフック切り

5 採花期前後における切り花特性

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
草姿全体	切花長	採花切り口から花卉先端までの長さ	A	測定	cm	1
	花茎の長さ	採花切り口から花床基部までの長さ	B	測定	cm	1
	花柄の長さ	完全葉の最上節から花床基部までの長さ	A	測定	cm	1
	花穂長	スプレーのみ:最下位着花節から花卉先端までの長さ	B	測定	個	1
	一茎の花蕾数	一茎の花蕾数。スプレーは有効花蕾=頂花およびバランスの悪い下位一次分枝を摘除した後の一次花蕾数	A	測定	個	1
	二次花蕾数	スプレーのみ:同上の二次花蕾数	B	測定	個	1
	枝基部のとげ数	5:無、4:少、3:中、2:多、1:極多	B	観察	指数	1
	花柄のとげ数	5:無、4:少、3:中、2:多、1:極多	B	観察	指数	1
	とげの形	上下・上・下えぐれ型、ペナント型、釣り針型、下部・上部ふくらみ型、乳首型、その他	B	観察		
葉	小葉全体の形	被針形、楕円形、卵形、円形、その他	B	観察		
	本葉の長さ	開花枝中央部の本葉の長さ	B	測定	cm	1
	本葉の幅	開花枝中央部の本葉の幅	B	測定	cm	1
	葉数	開花枝における3小葉以上の本葉数	B	測定	枚	1
茎	茎径	採花枝切り口の直径	A	測定	mm	1
	花首長	花首の長さ	A	測定	cm	1
	花首径	花首中央部の直径	B	測定	mm	1
	花柄の強さ	4:強、3:中、2:弱	B	観察	指数	1
	蕾の形	がく割れ時における蕾の形:球形、つぼ形、カップ形、卵形、尖長形、その他	B	観察		
	花卉の形	剣弁、半剣弁、丸弁、菊状弁、波状弁、さじ弁、その他	A	観察		
	花形	平咲、波状咲、菊咲、ホンボン咲、カップ咲、抱え咲、高芯咲、多芯咲、その他	A	観察		

花	花弁表面の色	JHSカラーチャートを用いて系統色名を付記する。 花色は原則として品種の特徴を示した時期に外側から3列目くらいの花弁を対象とする	B	測定		
	花弁基部の色	花弁表面基部の色。JHSカラーチャートを用い系統色名を付記する	B	測定		
	花弁表面の模様タイプ	花弁表面の模様のタイプ:目、爪、覆輪、ぼかし、絞り、その他	B	観察		
	花弁裏面の模様タイプ	花弁裏面の模様のタイプ:爪、覆輪、ぼかし、絞り、その他	B	観察		
	花色の移行性	花色の移行性の有無	B	観察	指数	1
	花色の退色性	3:易、2:中、1:難	B	観察	指数	1
	花弁数	夏:8月と秋:10月に調査	B	測定	枚	1
	花弁の厚さ	夏:8月と秋:10月に調査	B	観察	指数	1
		5:極厚い、4:厚い、3:中、2:薄い、1:極薄い				
	花の香り	4:強、3:中、2:弱、0:無	A	官能	指数	1